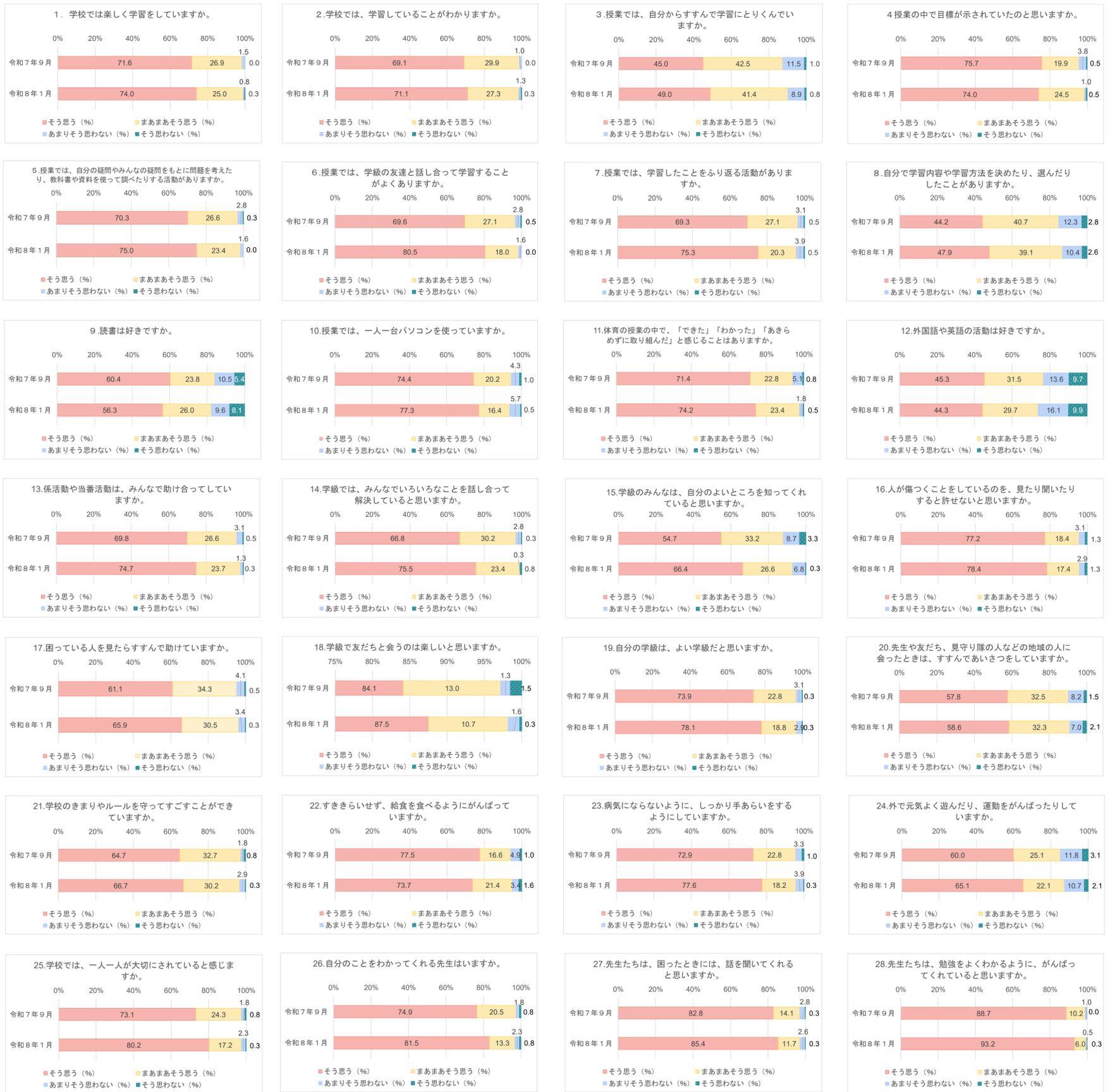


令和7年度「学校生活アンケート(児童用)期末」の集計結果について【全学年】

大阪市立野田小学校

1月に実施した「学校生活アンケート(児童用)期末」の集計結果をお知らせします。調査結果は学校の活性化に役立てていくとともに、結果から見てきたことを、今後の教育活動に生かしてまいります。(※ 令和8年1月調査の回答総数は384人です。)



【分析と今後の取組み】

◆学習について

99.0%の子どものが「1. 楽しく学習している」、98.4%の子どものが「2. 学習していることがわかる」と回答しており、多くの子どもが前向きに学習に取り組んでいることがうかがえます。また「5. 疑問をもとに調べる活動」、「6. 話し合い活動」なども肯定的回答が増加しており、対話的な学びが広がっています。さらに、99.2%の子どものが「28. 先生たちは、勉強がよくわかるようにがんばっている」と感じています。反面、「3. 自分からすすんで学習に取り組んでいる」「8. 学習内容や学習方法を決めたり、えらんだりしたことがある」の項目では、肯定的回答がそれぞれ90.4%、87.0%にとどまっています。今後は、学習の中で選択や自己決定の場を大切にする中で、「自分で決める」「自分から取り組む」といった子どもの「自ら学ぶ力」を一層育ててまいります。「9. 読書は好き」では肯定的に回答した子どもは82.3%にとどまっています。読書習慣の個人差や多様なメディアに触れる機会が増えていることの影響が考えられます。今後は、読み聞かせや本の紹介などを通して、本と出会う機会を増やし、「読めた」「おもしろい」と感じられる体験を大切にしていきたいと思います。ご家庭でも、ぜひ読書に親しむ時間づくりにご協力をお願いいたします。

◆生活について

98.4%の子どものが「13. 係活動や当番活動で助け合っている」、99.0%の子どものが「14. いろいろなことを話し合って解決している」の項目で肯定的に回答しています。子どもたちが学級で協力しながら生活しているようすがうかがえます。また、96.9%の子どものが「21. 学校のきまりやルールをまもってすごしている」と回答しており、規範意識の高さが見てとれます。「20. すずんであいさつをしている」では、90.9%の子どものが肯定的に回答していますが、より多くの子どもが進んで気持ちのよいあいさつができるよう指導を継続します。「23. しっかり手あらいをしている。」では95.8%の肯定的回答があり、日常の生活習慣として定着していることがうかがえます。今後は、感染症予防等に向け、手洗いの継続に加えて、換気やハンカチ持参なども含めた健康管理意識の向上を図ってまいります。

◆友達関係について

「16. 人が傷つくことをしているのを許せない」「17. こまっている人を見たら助けている」「18. 友だちと会うのは楽しい」の項目で95%以上の子どもが肯定的に回答し、いずれも中間期より伸びが見られました。思いやりの心が高い水準で育てており、学級集団の成熟がうかがえます。本校では、「いのち・いじめについて考える週間」を年間3回設定するなど、友達との関係を見つめ直す機会を設けることで「いじめ防止」の意識を高めるよう取り組んでいます。今後も引き続き、思いやりあふれる学校づくりを進めていきます。

◆学校生活全般について

96.9%の子どものが「19. 自分の学級は、よい学級だと思う」、97.4%の子どものが「25. 一人一人が大切にされていると感じる」と回答しています。子どもたちが概ね落ち着いた学校生活を送っている様子が見えます。また、94.8%の子どものが「26. 自分のことをわかってくれる先生はいる」、97.1%の子どものが「27. 先生たちは、こまったときには、話を聞いてくれる」と感じています。今後とも、子どもたちの良さを伸ばし、一人一人に寄り添いながら、子どもの笑顔あふれる学校づくりに取り組んでまいります。本校の教育活動にさらなるお力添えをお願いいたします。